

茨城県知事選挙

投票率50パーセントを割る

女子は43.5パーセント



四月十二日、統一地方選挙のトップをきいて県知事選挙が行なわれ、同日午後七時三十分から八郷公民館で、即日開票が行なわれました。町は政治意識が低いとさ

れていますが、その例にもれず平均投票率は四八・五パーセントと、県平均投票率を大きく下まわり、前回に引きづいて五〇パーセントを割りました。

投票率を男女別にみると

岩上二郎	57諸現	六、六二〇
石野久男	60社新	一、八八六
山田健二	34無新	二〇八
高山慶太郎	62共新	一七三
飯島新太郎	63無新	四九

投票数 男四、八〇九
女四、八六九
有効投票 八、九三六
無効投票 四二

総投票数 一億一、四四八万円
県支出金 一億一、二八万円
財産収入 一千万円
繰越金 一、五〇〇万円
諸収入 五万円

総歳出 一、六九八万九千円

農作物共済勘定

業務勘定 一、四六三万円
公債費 四九六万円
予備費 二〇万円

投票率は43.5パーセント

県知事選挙開票結果

一	八郷公民館	男五三・九 ・五〇パーセント
二	八郷公民館	女四三 ・五〇パーセント

女子の投票率の悪さが目立つてい

ます。

選挙は、主権者であるわ

たしたちが直接参政権を行

使する唯一の機関であり、

意志を表明するたいせつな

ものです。六月には参議選

が予定されていますが、政

治意識を高め、だれもが投

票してほしいものです。

消防費は、年次計画を尊

重し予算化しました。在家

庭者が年々少なくなっていますので、今後の運営に

は関係者と十分検討してい

きたいと思います。

つづまして、教育関係

ですが、総合中学校の屋内

体育館の建設がおわり、園

部中ブールの建設が残され

ていますが、本年度中には

は関係者と十分検討してい

きたいと思います。

つづまして、教育関係

ですが、総合中学校の屋内

体育館の建設がおわり、園



液が非常に速く凝固したり、胃の入口が固く収縮して怒つて居る間にも通過されないといわれます。脈搏も非常に多くなるし、血圧も二百以上にも上り、怒った瞬間によく脳卒中の発作を起すことがあります。

このように感情の緊張は肉体的に深刻な影響をもつもので、不快な感情で病的にならぬ原因もないのに後頭部や首筋にいたみを覚えたり、胃かいようと同じような痛みを感じたりして、生活の悩みからストレスが起す病気はいわゆる病気の半分以上もあり、正しい生活ができないための感情の緊張が肉体に深刻な影響を及ぼし、いろいろな病気になることが最近わかつてきました。

この感情には非常な強い刺激となるものと、それが強くもなく弱くもないといった適度の刺激となるものがあります。怒り、悲しみ、心配、恐怖などが前者で器官や筋肉を過度に刺激し、不愉快な感じを起こさせ後者は喜び、希望、愛情などで快い感情です。

なお感情には、感情の二つの層ともいわれる同時に二種類の異ります。たものが現われる場合があることをしりません。たとえばAが何か悪いことをしましたときには、Aは内心たえずびくびくしている。来る日も来る日も恐怖、不安を抱き自責の念に悩まされこれが必ず肉體的変化をともない筋肉をこわばらせ、内分泌を異常に刺激して体に具合の悪さを感じさせるものですが、そうした中であってもAは表面的にいかにも楽しげに見え、友人と談笑しているときもあるが内心ははげしい不快を感じています。

このように感情のありようは、健康に大きく影響をもつものですが、わたしたちは常に悩み、心に心配などをもち、悲しんだり、腹をたてたり、不満においまわされて苦斗しつつ日夜を送っているのが現状ですが特に社会的地位も高く、責任も重く、いそがしく立ちまわらねばならぬ人たちは、たえず緊張する場面や心配ごとや、気がかりのことも多いため、感情病にかかりやすいのです。

ともかく、良い感情をもつことは、刺激的影響をもつ悪い感情をなくしてしまったり、内分沁の適度の均衡を保って、思わず口ぶえができるような、とてもいい気持ちにするので、健康生活にはなによりたいせつなもので、感情を鍛錬して常に明るく、快活な持主になることはいかなる宝よりもたいせつであり、心がけや、訓練のしよによつては可能なのです。

感 情 病 (一)

教育長 桜井 隆一

怒つたときの外面的あらわれをみると、顔色が赤くなる、まぶたが広がる、目が充血する、声がふるえるといった状態を示し、又体内の変化をみると、血管が引きしまる、こぶしを握る、脳の数が非常にふえたり、胃の入口が固く収縮して怒つて居る間にも通過されないといわれます。脈搏も非常に多くなるし、血圧も二百以上にも上り、怒った瞬間によく脳卒中の発作を起すことがあります。

このように感情の緊張は肉体的に深刻な影響をもつもので、不快な感情で病的にならぬ原因もないのに後頭部や首筋にいたみを覚えたり、胃かいようと同じような痛みを感じたりして、生活の悩みからストレスが起す病気はいわゆる病気の半分以上もあり、正しい生活ができないための感情の緊張が肉体に深刻な影響を及ぼし、いろいろな病気になることが最近わかつてきました。

この感情には非常な強い刺激となるものと、それが強くもなく弱くもないといった適度の刺激となるものがあります。怒り、悲しみ、心配、恐怖などが前者で器官や筋肉を過度に刺激し、不愉快な感じを起こさせ後者は喜び、希望、愛情などで快い感情です。

なお感情には、感情の二つの層ともいわれる同時に二種類の異ります。たものが現われる場合があることをしりません。たとえばAが何か悪いことをしましたときには、Aは内心たえずびくびくしている。来る日も来る日も恐怖、不安を抱き自責の念に悩まされこれが必ず肉體的変化をともない筋肉をこわばらせ、内分泌を異常に刺激して体に具合の悪さを感じさせるものですが、そうした中であってもAは表面的にいかにも楽し�に見え、友人と談笑しているときもあるが内心ははげしい不快を感じています。

このように感情のありようは、健康に大きく影響をもつものですが、わたしたちは常に悩み、心に心配などをもち、悲しんだり、腹をたてたり、不満においまわされて苦斗しつつ日夜を送っているのが現状ですが特に社会的地位も高く、責任も重く、いそがしく立ちまわらねばならぬ人たちは、たえず緊張する場面や心配ごとや、気がかりのことも多いため、感情病にかかりやすいのです。

ともかく、良い感情をもつことは、刺激的影響をもつ悪い感情をなくしてしまったり、内分沁の適度の均衡を保って、思わず口ぶえができるような、とてもいい気持ちにするので、健康生活にはなによりたいせつなもので、感情を鍛錬して常に明るく、快活な持主になることはいかなる宝よりもたいせつであり、心がけや、訓練のしよによつては可能なのです。

キッチングによる栄養指導 今年になって6回開く



県の栄養指導車(キッチンカー)による栄養指導が行なわれています。

今年になって6回開く

導の一環として行なわれておるもので、今年になつてからも、巡回して実験を行なわれています。

講習の内容は、農家の主婦の一人として行なわれておるもので、今年になつてからも、巡回して実験を行なわれています。

これからも、巡回して実験を行なわれています。

これからも、巡回して実験を行なわれています。